**2023年５月5日**

**第17回日本ヘーゲル学会研究奨励賞候補の応募・推薦のお願い**

**日本ヘーゲル学会 会員各位**

**日本ヘーゲル学会研究奨励賞選考委員長**

**杉田 孝夫**

日本ヘーゲル学会研究奨励賞選考委員会は本学会の若手研究者の研究を奨励するために、第１7回（2023年度）日本ヘーゲル学会研究奨励賞の選考を行います。

つきましては、受賞を希望される会員は、下記の要領で応募書類をご送付下さい。

選考委員会は応募作品を審査し、2024年3月理事会での審議を経て授賞を決定し、２０２４年６月研究大会の総会において選考結果報告と授賞式を行なう予定です。

受賞者は理事会からの授賞通知の後、履歴に受賞を記載する資格を得ます。

なお昨年度まで論文部門と著書部門の二部門で募集・審査を行なってきましたが、一昨年度来の制度見直し作業の一環として、今年度からは著書部門だけの公募審査とし、論文部門は従来の審査方式を改め、今年度から日本ヘーゲル学会機関誌『ヘーゲル哲学研究』に掲載された公募論文の中から「最優秀論文」を選出する方式に変更することになりました。今年度審査の対象となるは『ヘーゲル哲学研究』第29号（2023年12月刊行）掲載の公募論文になります。

記

**応募**

受賞資格 ：日本ヘーゲル学会会員でほぼ４０歳までの研究者

応募期限 ：2023年7月１５日

書類等提出先 ：

〒157-8511

東京都世田谷区成城６丁目１−２０

　　　　　　　　　成城大学文芸学部　下田和宣研究室

　　　　　　　　　日本ヘーゲル学会事務局気付

　　　　　　　　　研究奨励賞選考委員会

[shoreisho@hegel.jp](about:blank)（メール送信の場合）

**自薦／他薦制とします。自薦もしくは他薦の著作の中から、審査委員会が候補作を一冊選び、審査します。**

提出書類　　　：推薦書（添付の推薦書様式にご記入ください）。

：候補に選ばれた会員には審査委員会より連絡し、①略歴書（生年月日、最終学歴、所属）、②業績一覧、③候補著書（５部）などをご提出いただきます。外国語書籍の場合は、日本語による概略書の送付をお願いすることがあります。

※選考候補となる著書は2018年4月～2023年3月に刊行されたものに限られます。

※翌年度以降の自薦・他薦の再提出は妨げません（受賞著作以外）。

以上